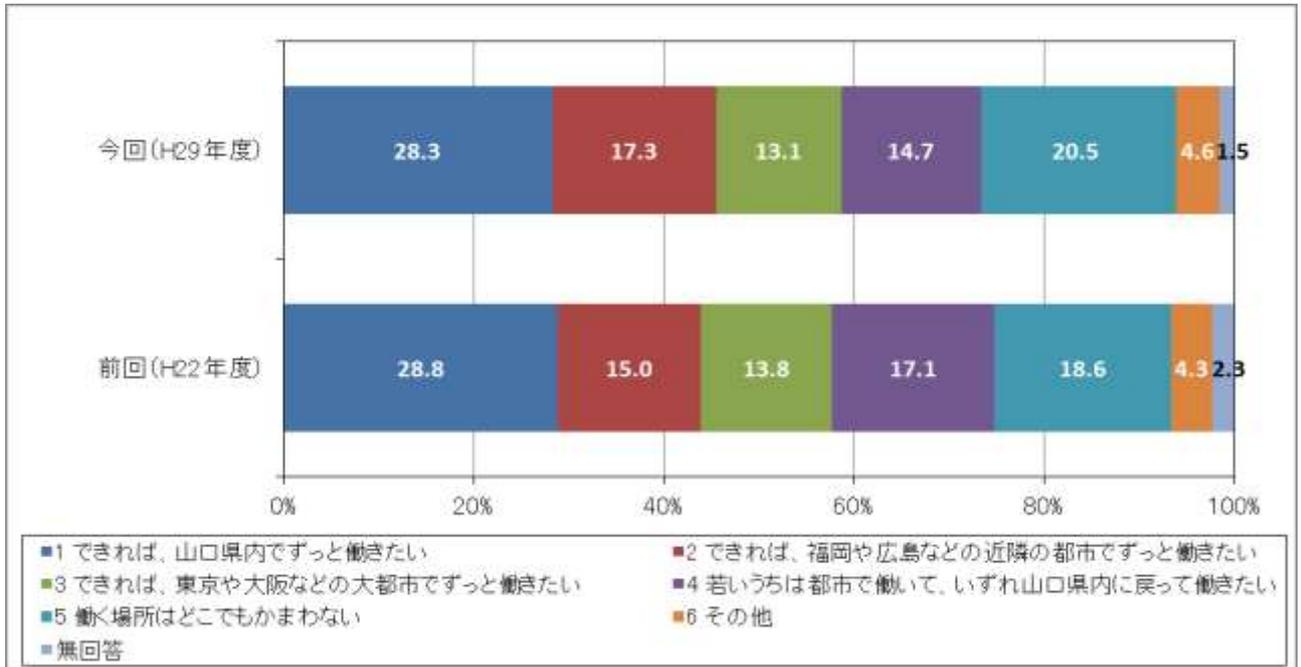


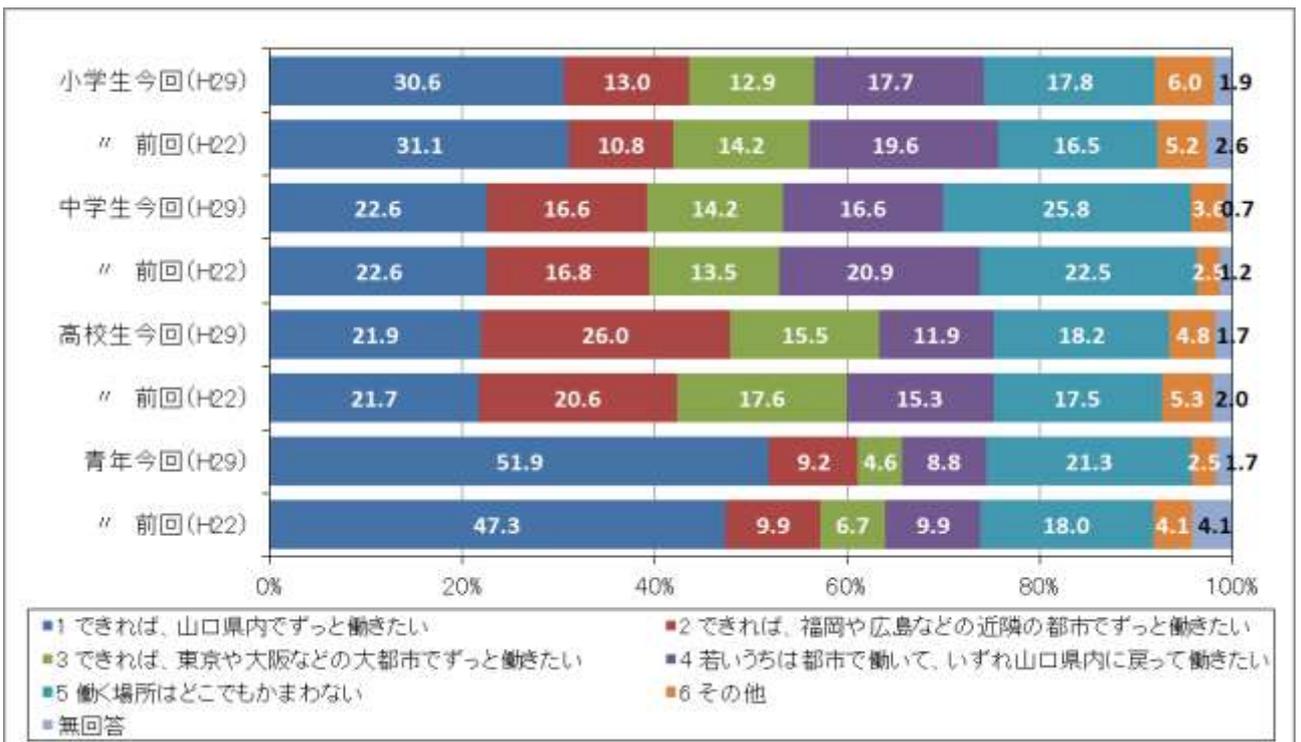
VI 青少年の職業観と余暇

1 将来働く場所：（質問）あなたは、将来働くとしたら、どこで働きたいですか。

- 青少年全体で「1 山口県内でずっと働きたい」と答えた割合は 28.3%、以下、「5 働く場所はどこでもかまわない」（20.5%）、「2 福岡や広島などの近隣の都市でずっと働きたい」（17.3%）、「4 若いうちは都市で働いて、いずれ山口県内に戻って働きたい」（14.7%）、「3 東京や大阪などの大都市でずっと働きたい」（13.1%）の順になっている。



- 「1 県内で働きたい」と答えた割合を年代別にみると、青年(51.9%)で一番高く、次いで小学生(30.6%)、中学生(22.6%)、高校生(21.9%)の順になっており、前回調査とほぼ同じ割合である。

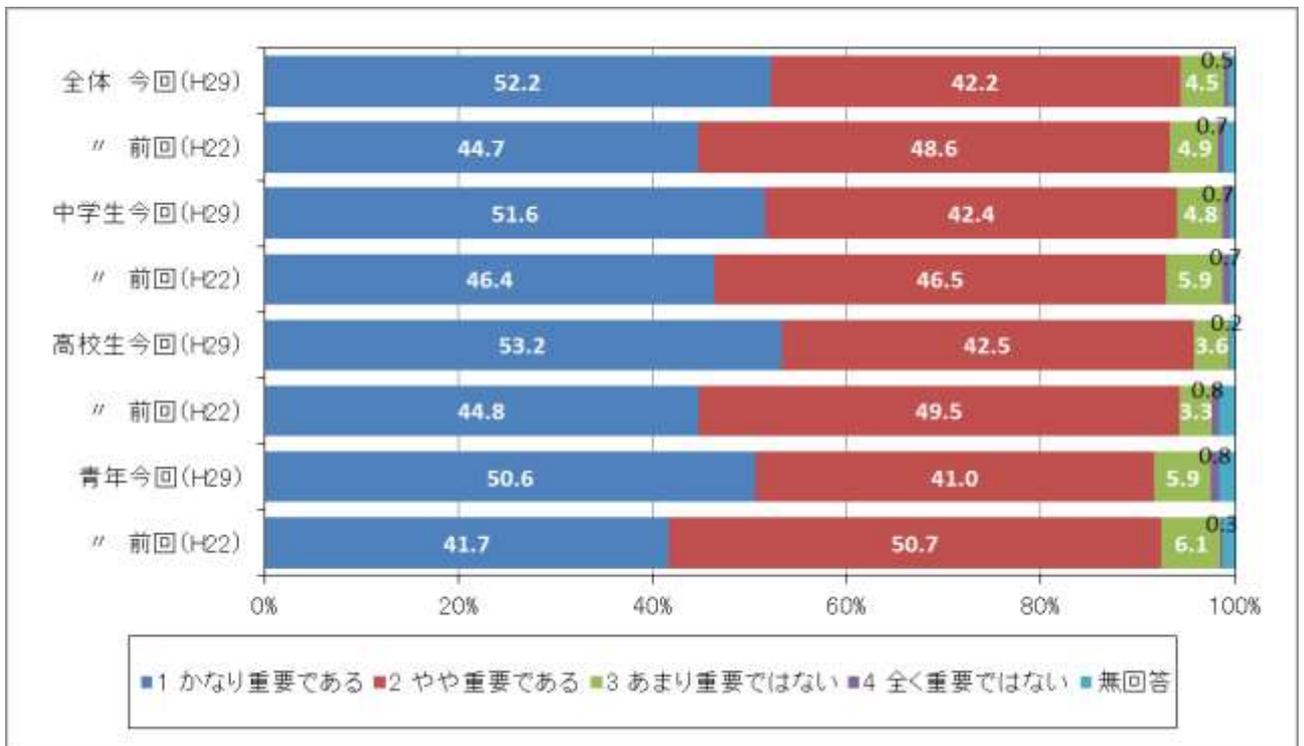


2 職業選択基準（中高生、青年）：

（質問）職業を決めるとき、ここにあげているアからキまでのことが、あなたにとってどの程度重要ですか。

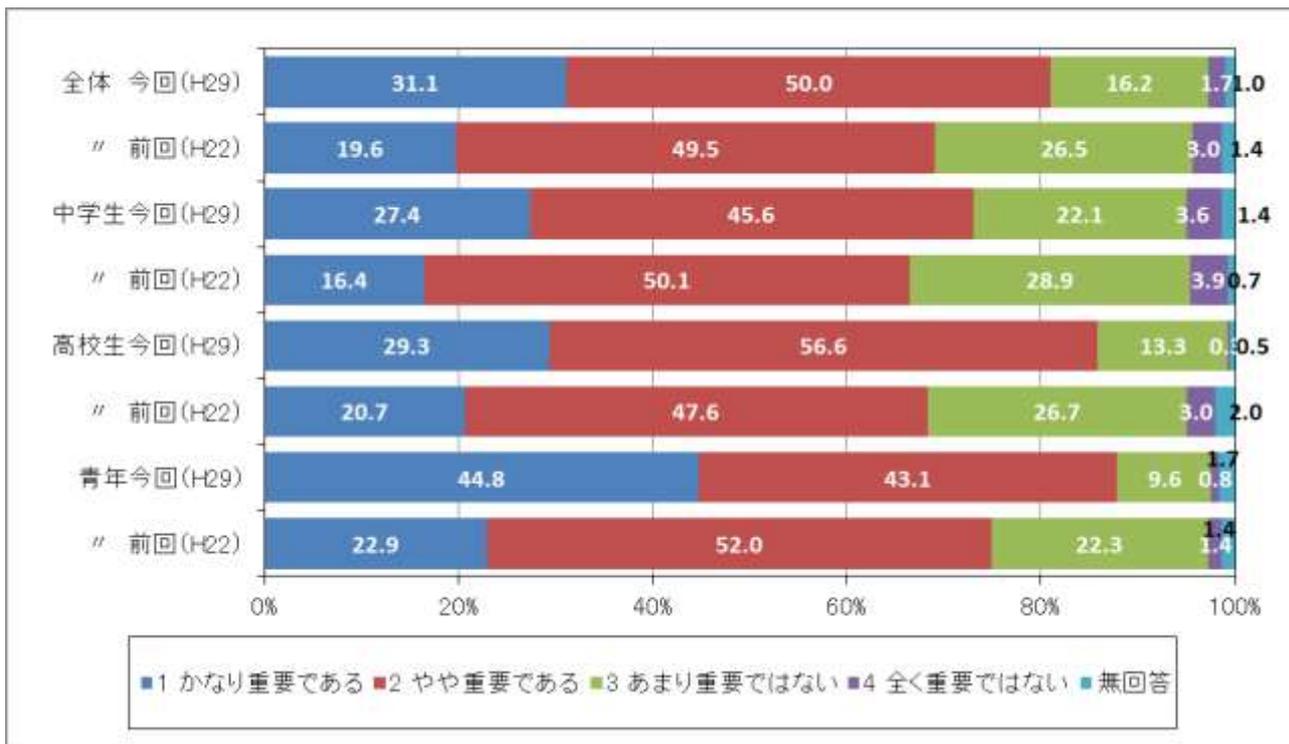
- ・全体では、職業を決める要因として「1 かなり重要」、「2 やや重要」と答えた割合は、「ア 収入が多いこと」(94.4%)が一番高く、次いで高いのは「エ 自分の能力を発揮できること」(89.7%)であった。
- ・「イ 休みが多く取れること」、「カ 他人や世の中のためになること」も、各年代とも7割～8割となっている。
- ・年代別に前回調査と比較して増加幅が大きいのは、「イ 休みが多く取れること」の高校生(68.3%→86.9%)、青年(74.9%→87.9%)、「ウ 仕事の内容が楽なこと」の青年(32.1%→46.9%)、「キ 世間の評判がよいこと」の高校生(59.3%→74.2%)となっている。

（ア 収入が多いこと）



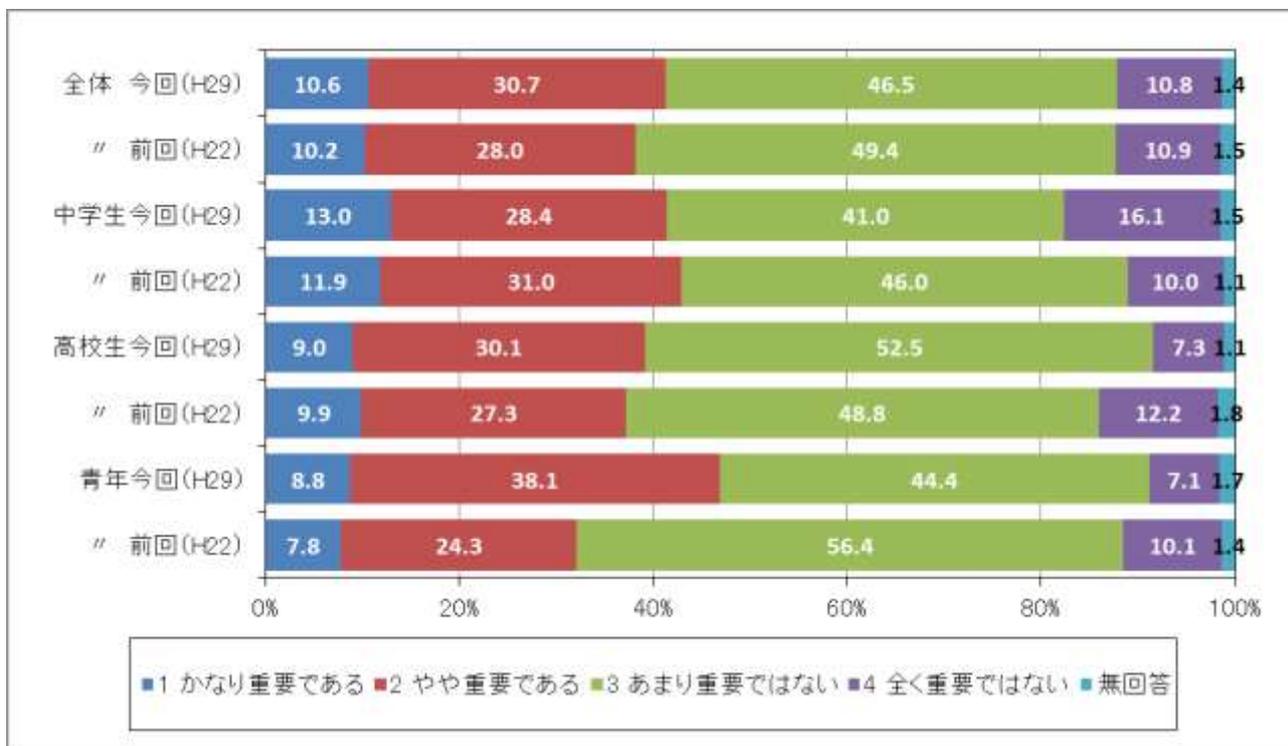
全体で、「1 かなり重要」、「2 やや重要」と答えた割合（93.3→94.4%）。

(イ 休みが多く取れること)



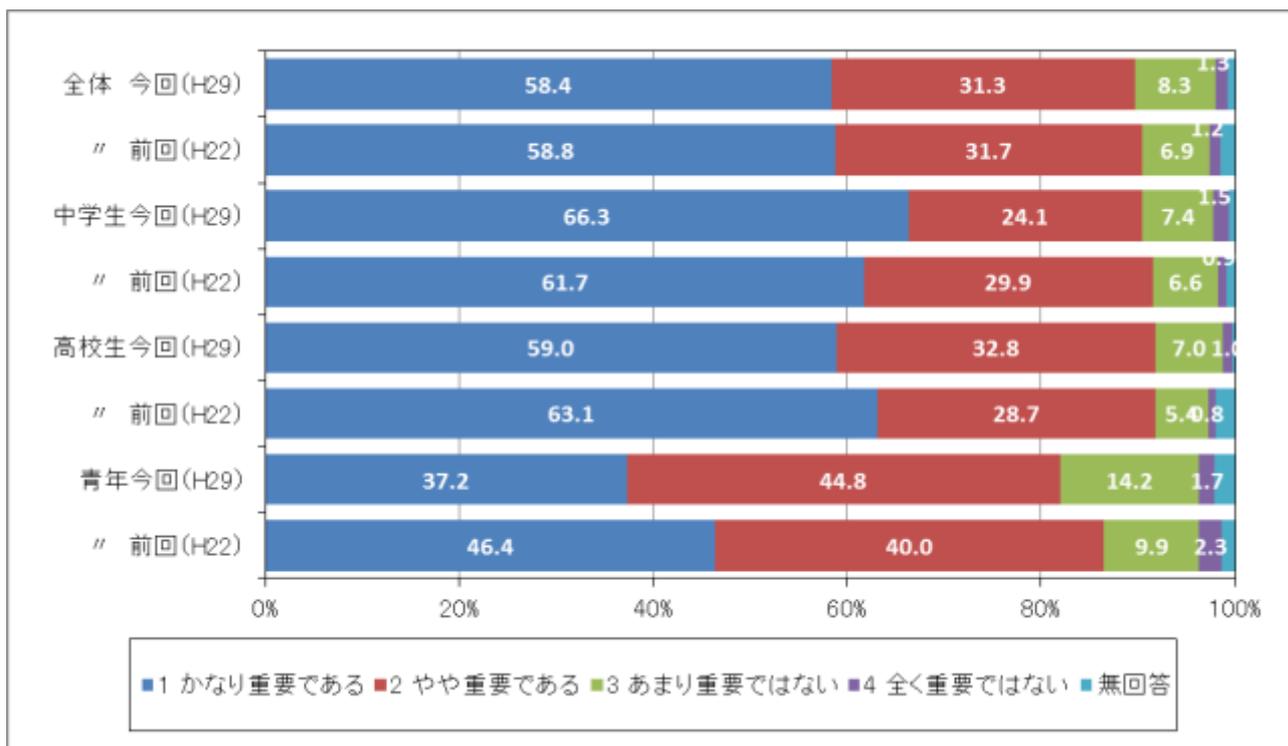
全体で、「1 かなり重要」、「2 やや重要」と答えた割合 (69.1%→81.1%)

(ウ 仕事の内容が楽なこと)



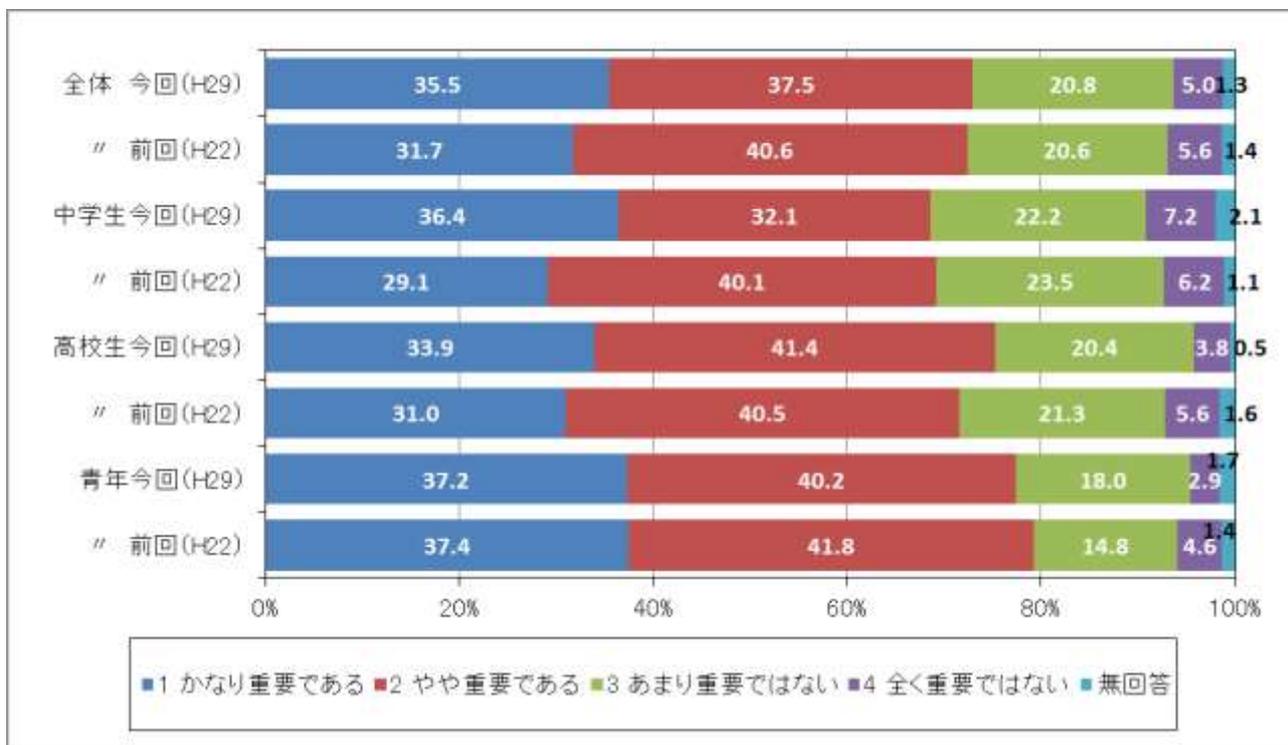
全体で、「1 かなり重要」、「2 やや重要」と答えた割合 (29.2%→41.3%)

(エ 自分の能力を発揮できること)



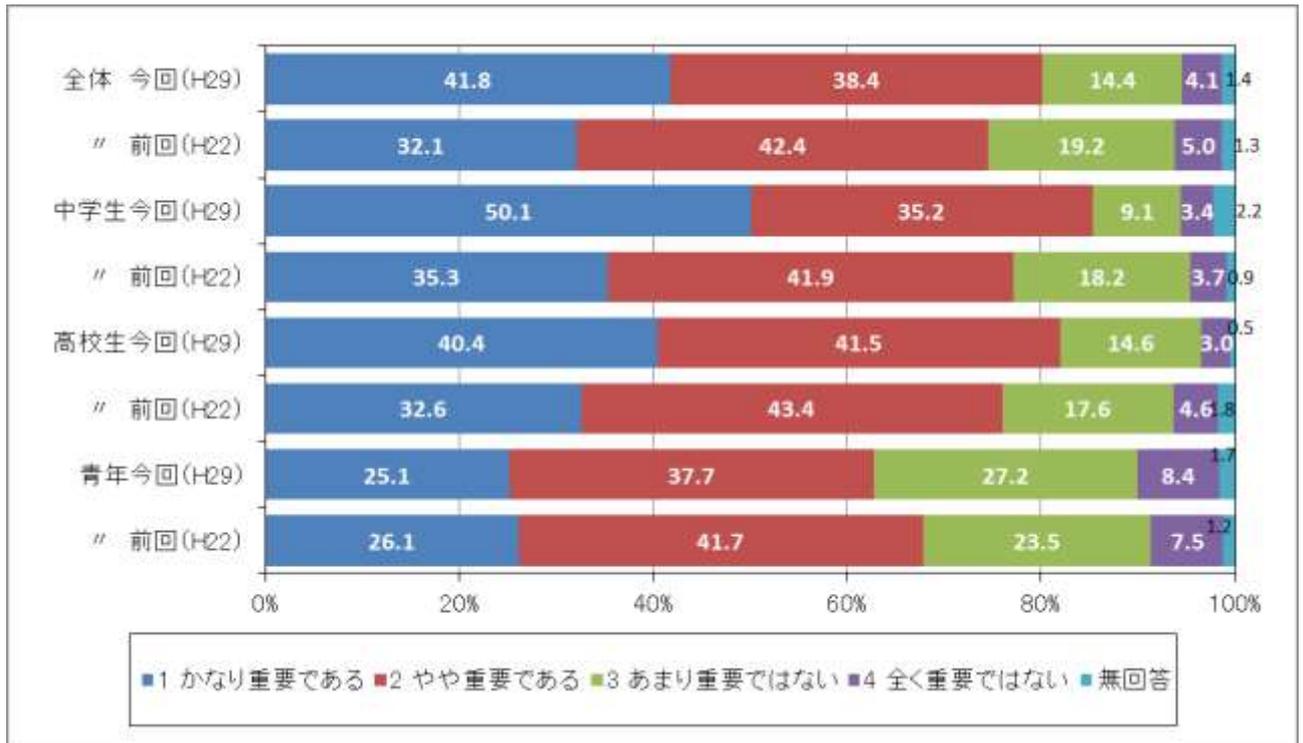
全体で、「1 かなり重要」、「2 やや重要」と答えた割合 (90.5%→89.7%)

(オ 希望する地域で働けること)



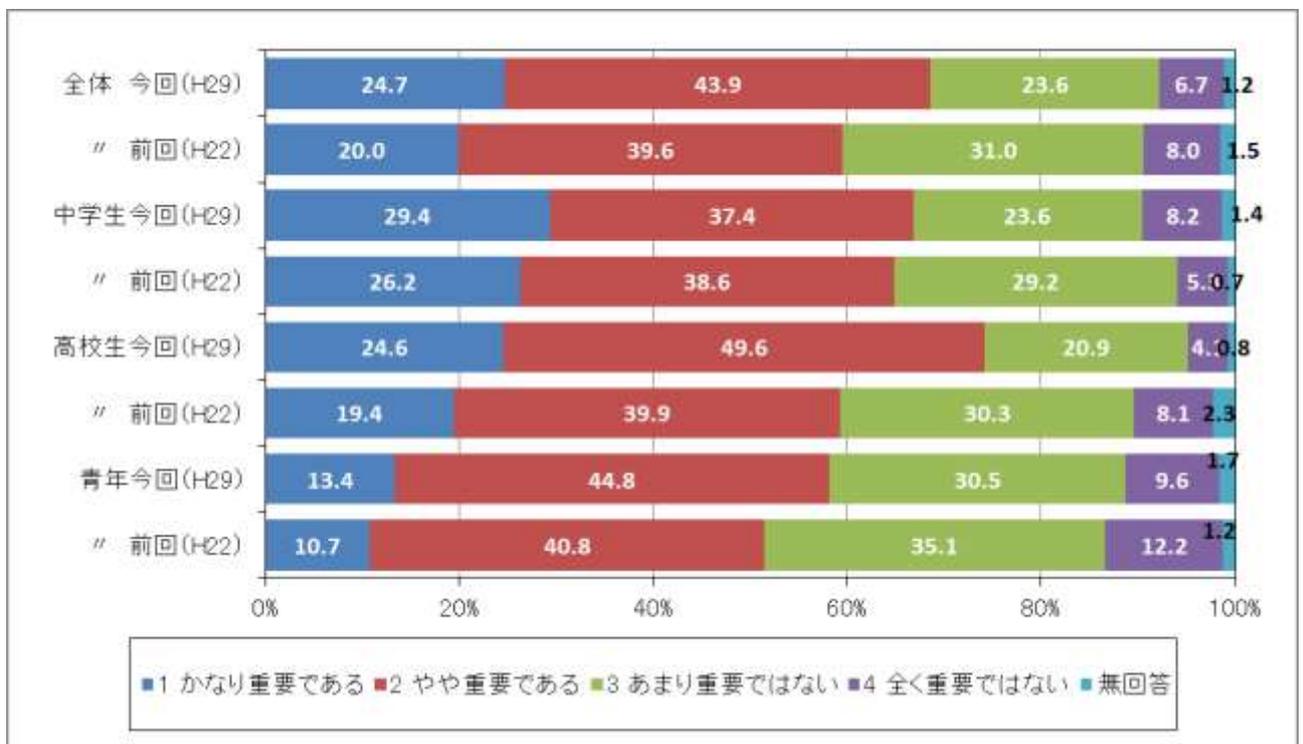
全体で、「1 かなり重要」、「2 やや重要」と答えた割合 (72.3%→73%)

(カ 他人や世の中のためになること)



全体で、「1 かなり重要」、「2 やや重要」と答えた割合 (74.5%→80.2%)

(キ 世間の評判がよいこと)

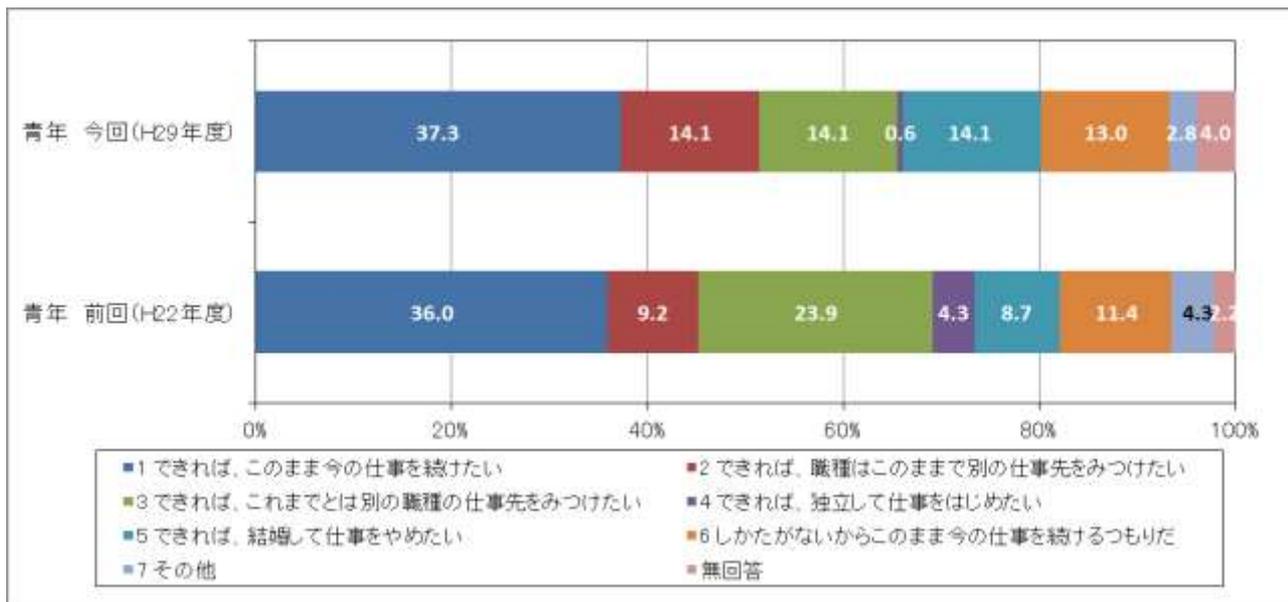


全体で、「1 かなり重要」、「2 やや重要」と答えた割合 (59.6%→68.6%)

3 青年の就労状況

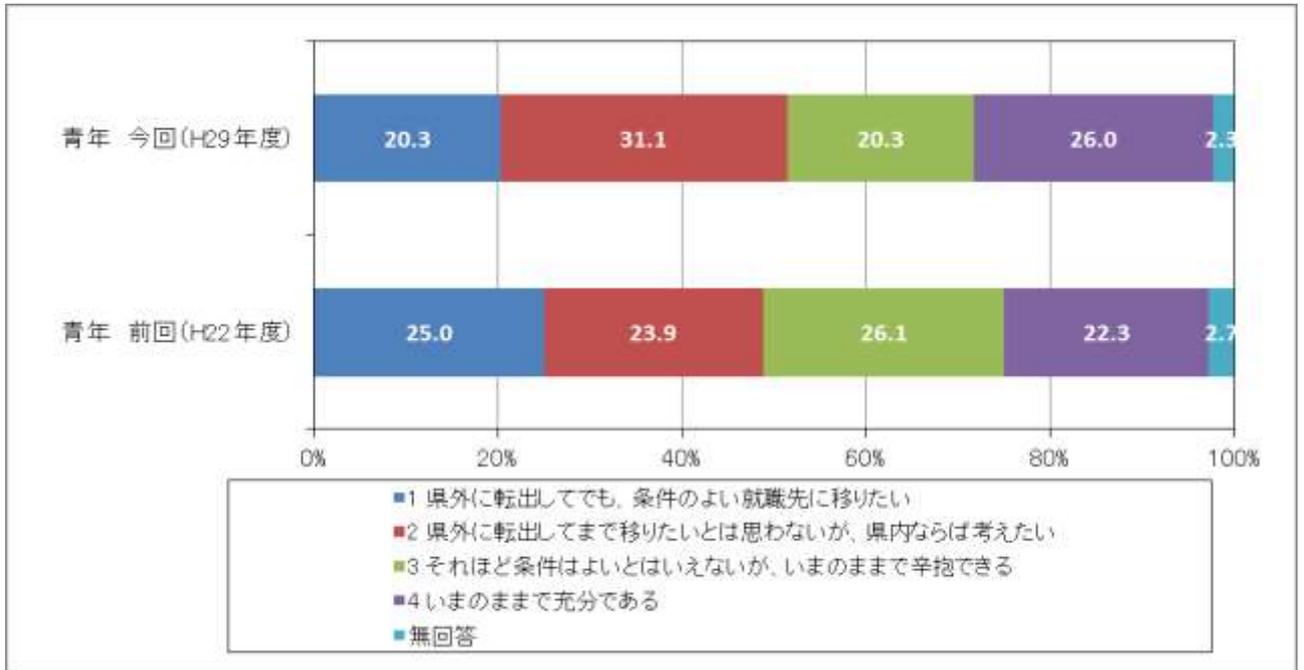
(1) 今の仕事に対する意向：(質問)あなたは、現在の仕事についてどう思っていますか。

- ・「1 このまま今の仕事を続けたい」(37.3%)と答えた割合が一番高く、「6 しかたがないからこのまま今の仕事を続けるつもりだ」(13.0%)を加えると、約半数が「今の仕事を続ける」としている。
- ・一方で「2 職種はこのままで別の仕事先をみつけない」(14.1%)、「3 これまでとは別の職種の仕事先をみつけない」(14.1%)とを合わせた、転職を希望する割合は28.2%(前回調査33.1%)、「5 出来れば結婚して仕事を辞めたい」は14.1%となっている。



(2) 転職希望：（質問）あなたは、もっと能力に見合った労働条件のよい就職先を選びたいと思いますか。

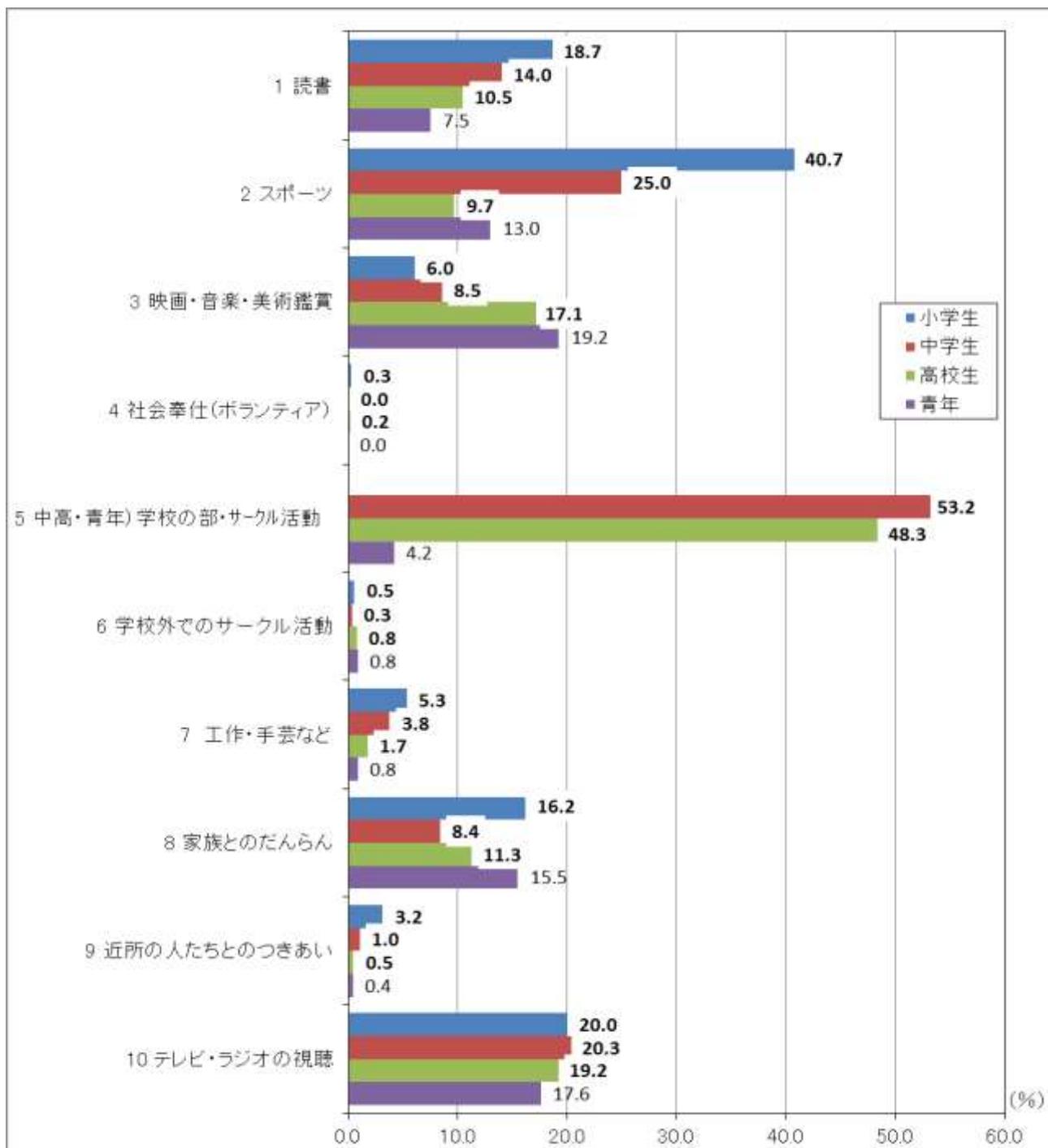
- ・「1 県外に転出してでも、条件のよい就職先に移りたい」（20.3%）と答えた割合と、「2 県外に転出してまで移りたいとは思わないが、県内ならば考えたい」（31.1%）を合わせると51.4%で、転職を希望する割合が約半数ある。
- ・また、「3 それほど条件はよいとはいえないが、いまのままで辛抱できる」が20.3%、「4 いまのままで充分である」が26%となっている。
- ・前回調査と比べると、「2 県外に転出してまで移りたいとは思わないが、県内ならば考えたい」の割合が増えている（23.9%→31.1%）。



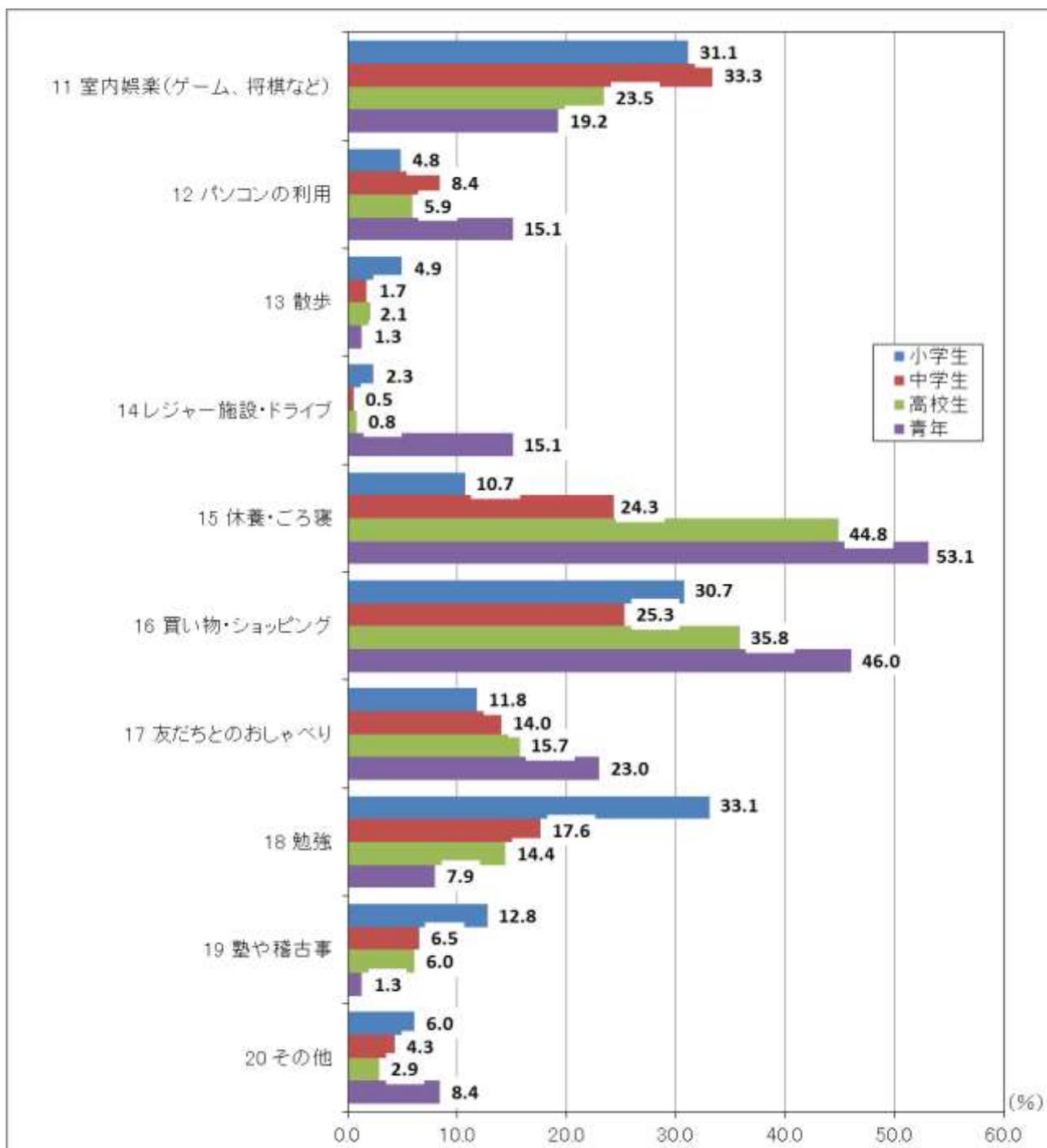
4 休日の過ごし方：（質問）あなたは、休日には主にどのように過ごしていますか（複数回答）。

- 小学生では「スポーツ」（40.7%）、「勉強」（33.1%）、「ゲーム、将棋など」（31.1%）、「買い物・ショッピング」（30.7%）、中学生は「学校の部活動」（53.2%）、「ゲーム、将棋など」（33.3%）、高校生は「学校の部活」（48.3%）、「休養・ごろ寝」（44.8%）、「買い物・ショッピング」（35.8%）、青年は、「休息・ごろ寝」（53.1%）、「買い物・ショッピング」（46%）の割合が高くなっている。
- 前回調査と比較すると、「パソコン利用」が、全ての世代で減少している（小学生16%→4.8%、中学生29.6%→8.4%、高校生27.2%→5.9%、青年23.2%→15.1%）。青年で「休息・ごろ寝」が、39.7%→53.1%と増加している。小学生で「家族とのだんらん」が、29.4%→16.2%と減少している。

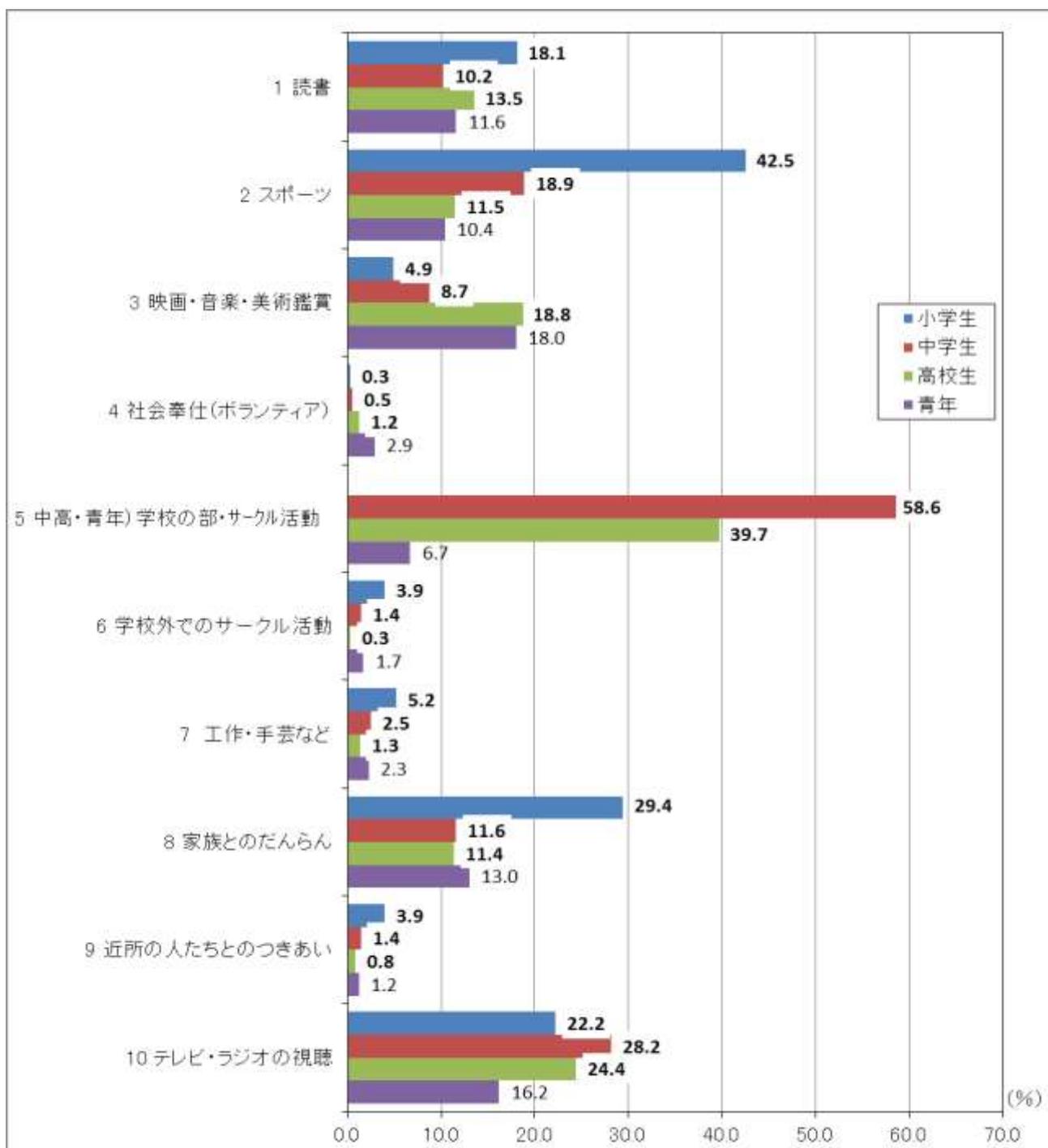
今回調査 設問1～10



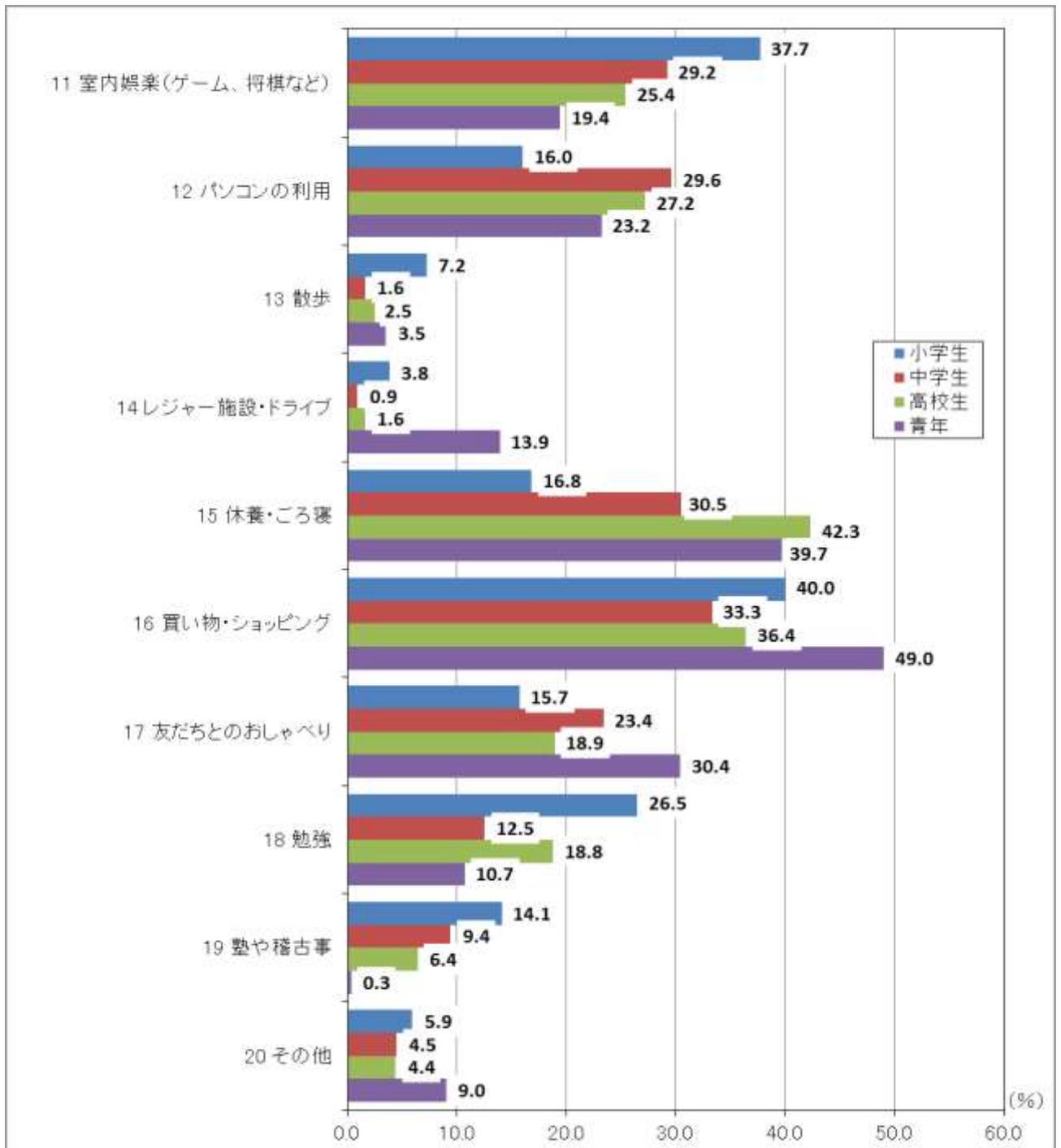
今回調査 設問 11～20



前回（H22）調査 設問1～10



前回（H22）調査 設問11～20



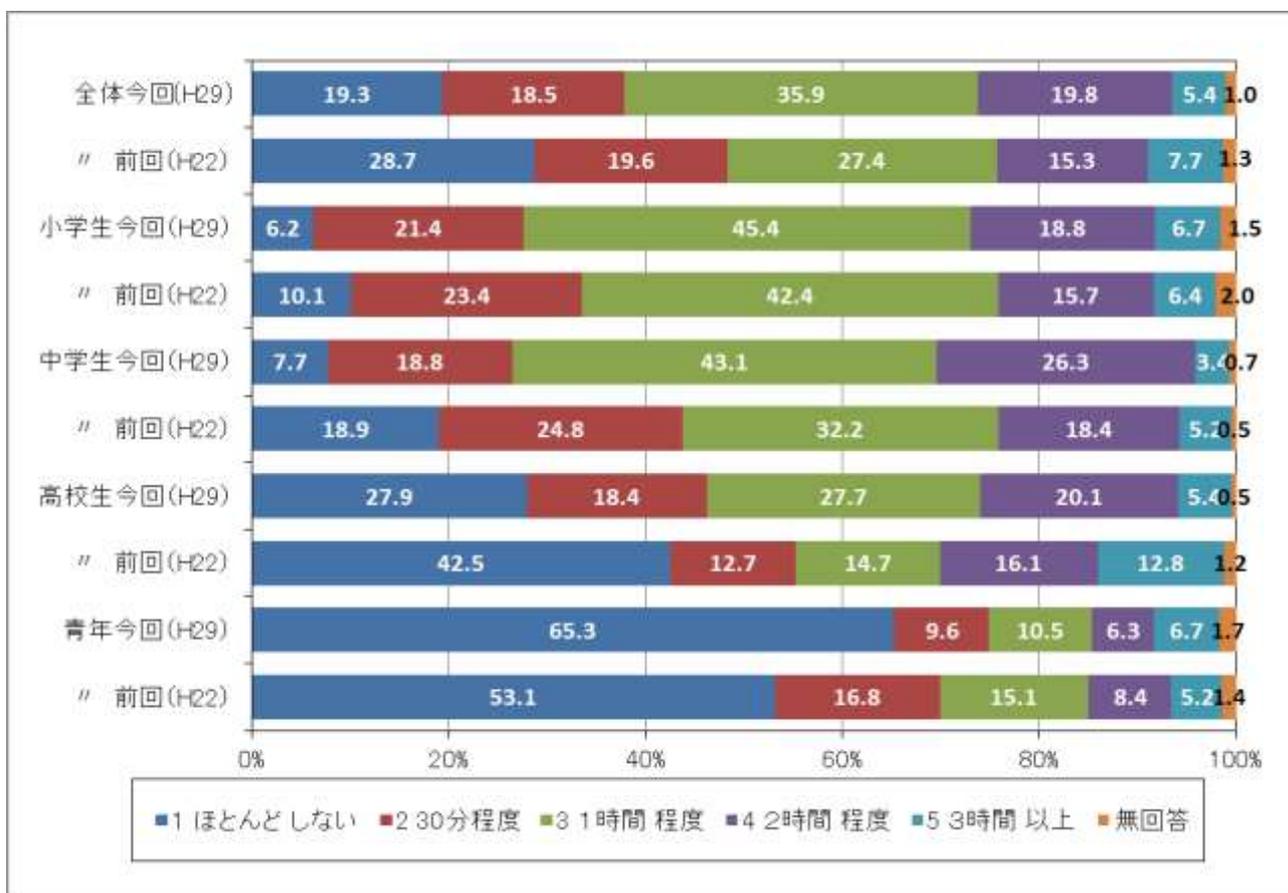
5 学校や会社がある日の過ごし方

(質問) あなたは、学校や会社がある日に、学校や会社以外で、次のようなことをどの程度していますか。

- ・ 1時間以上行って(利用して)いる割合で、ア～キの全項目をみると、青少年全体で一番割合が高いのはテレビ(70.2%)であり、年代ごとの割合の差異も小さい。
- ・ 次いで、学習(61.1%)、携帯電話やスマートフォン(53.1%)、スポーツ(47.9%)、テレビゲーム・携帯用ゲーム(43.1%)、マンガ・雑誌を読む(22.3%)、本・新聞を読む(19.1%)、パソコンを利用する(12.8%)の順になっている。
- ・ 年代別にみると、学習は小学生(70.9%)、中学生(72.8%)で、携帯電話やスマートフォンは高校生(83.7%)、青年(88.3%)で高くなっている。

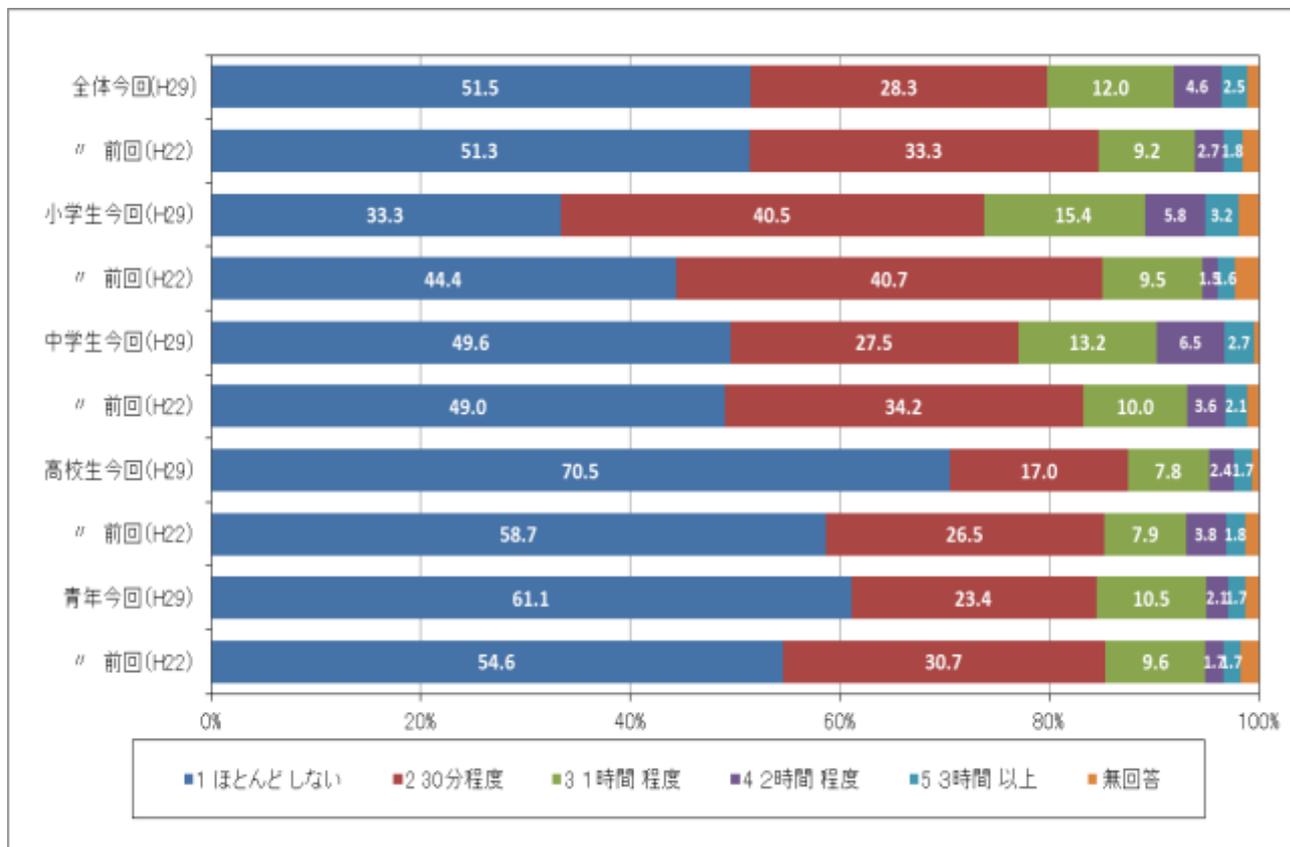
ア 学習

- ・ 青少年全体で1時間以上と答えた割合は61.1%となっている。
- ・ 年代別にみると、小学生(70.9%)、中学生(72.8%)が高く、高校生(53.2%)、青年(23.5%)である。



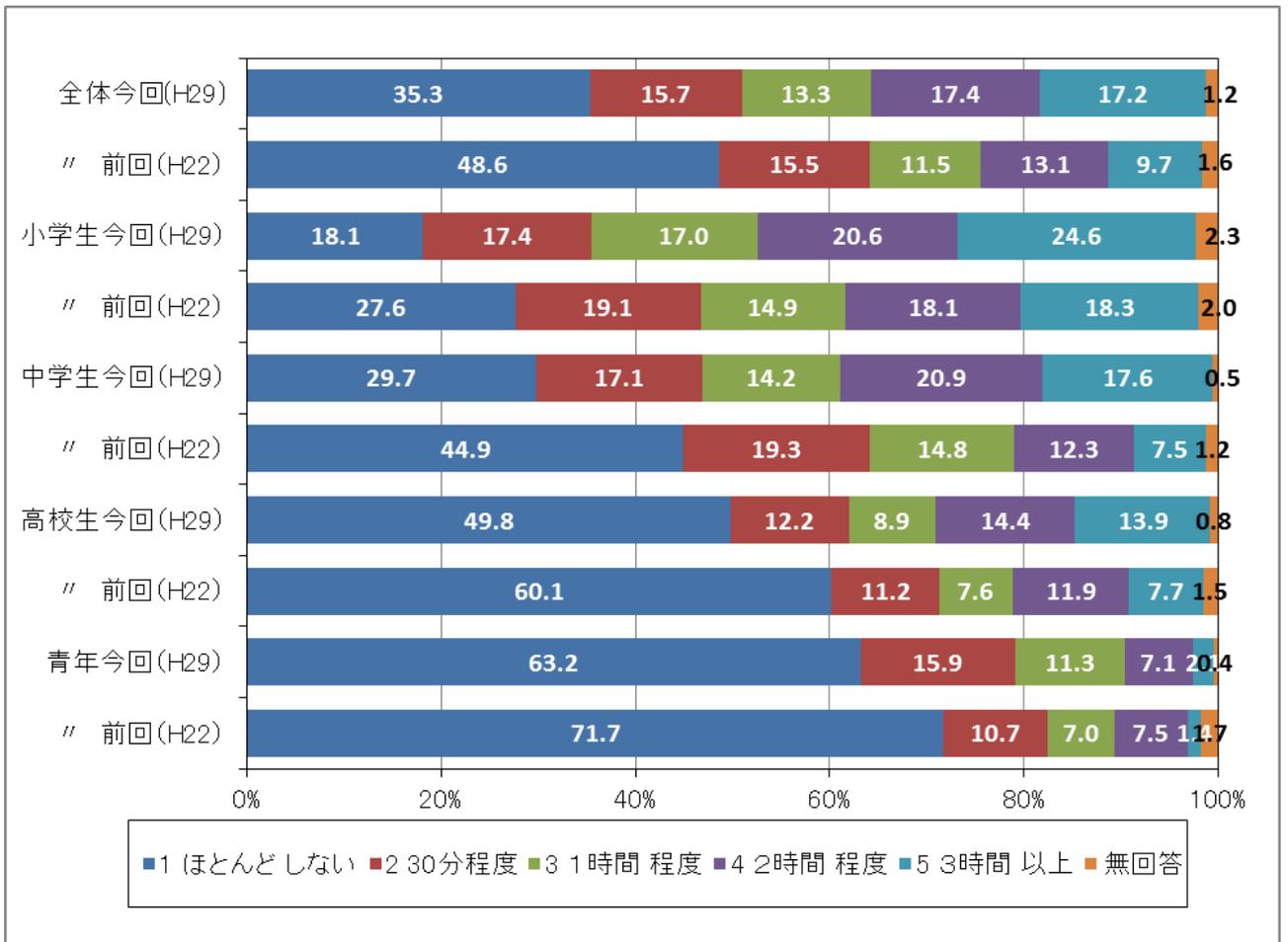
イ 本・新聞を読む

- ・青少年全体で「30分程度」、「1時間程度」、「2時間程度」、「3時間以上」と答えた割合は47.4%で、半数近くが本や新聞を1日30分以上読んでいるが、「30分程度」が最も多い。
- ・前回調査と比較すると、「ほとんどしない」が、小学生で44.4%→33.3%に減っており、高校生で58.7%→70.5%に増えている。



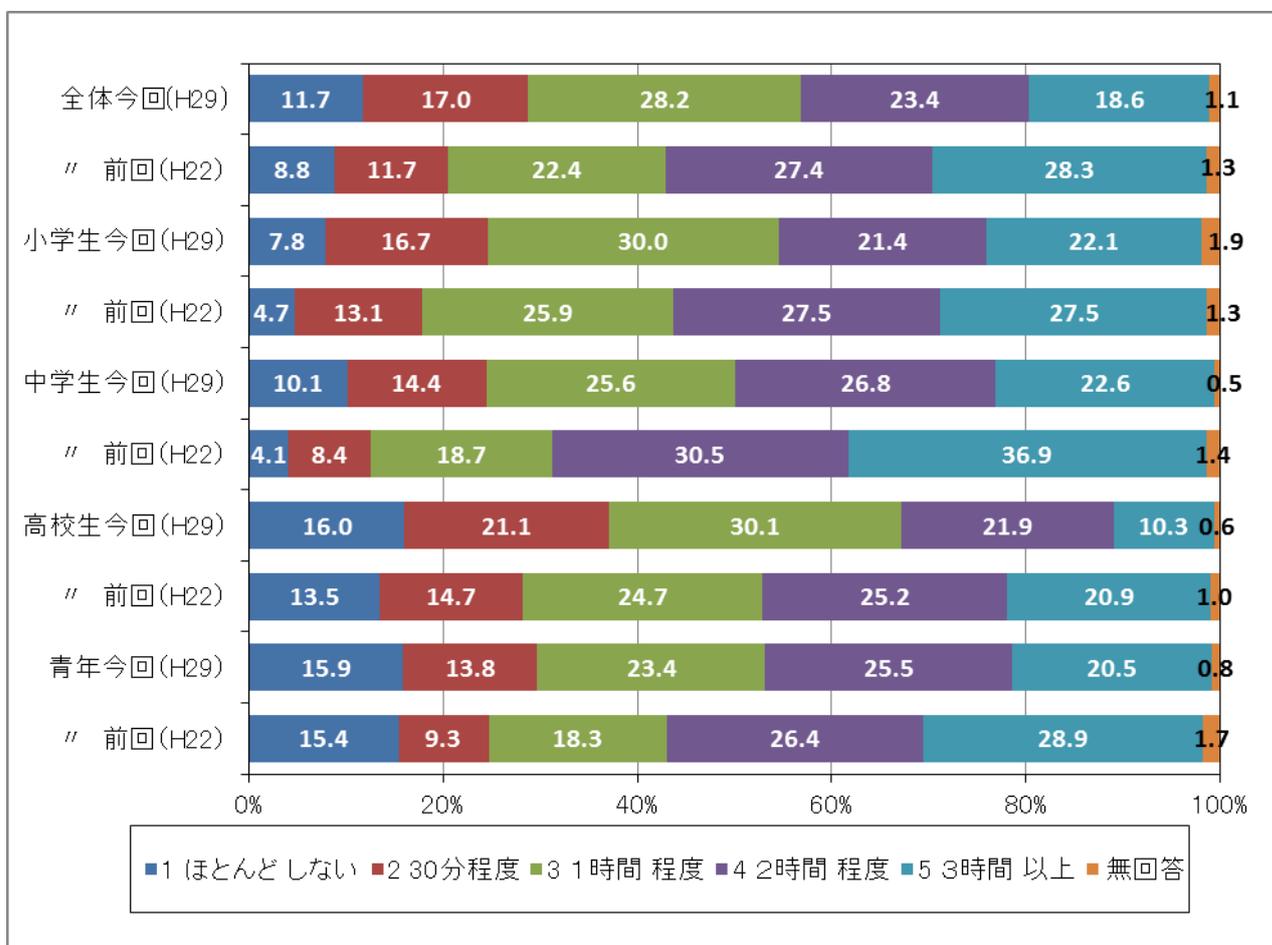
ウ スポーツ

- ・ 青少年全体で「30分程度」、「1時間程度」、「2時間程度」、「3時間以上」と答えた割合は63.6%で、半数近くが1日30分以上スポーツをしている。
- ・ 年代別にみると、「ほとんどしない」と答えた割合は、小学生が18.1%、中学生が29.7%、高校生が49.8%、青年が63.2%と、年代が上がるにつれ高くなっている。
- ・ 前回調査と比較すると、全ての世代で「ほとんどしない」と答えた割合が減っている。(小学生27.6%→18.1%、中学生44.9%→29.7%、高校生60.1%→49.8%、青年71.7%→63.2%)。



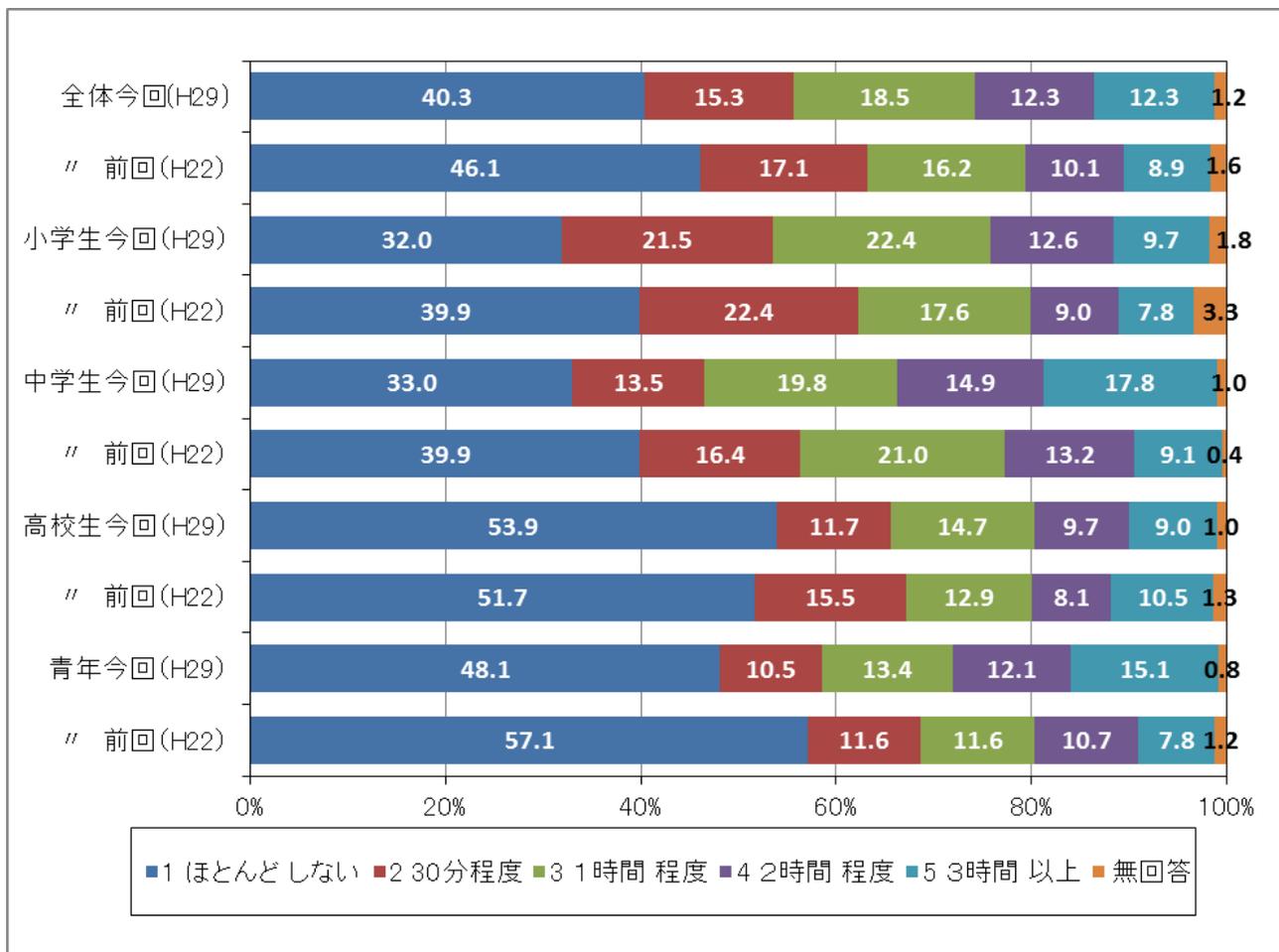
エ テレビを見る

- ・青少年全体で1時間以上(「1時間程度」、「2時間程度」及び「3時間以上」を合わせた割合：以下同じ)と答えた割合は70.2%となっており、前回調査(78.1%)からは減っているが、前回調査と同様、全項目の中で割合が一番高い。
- ・前回調査と比べると、小学生で80.9%→73.5%、中学生で86.1→75%、高校生で70.8%→62.3%、青年で73.6%→69.4%となっており、全ての世代で減っている。



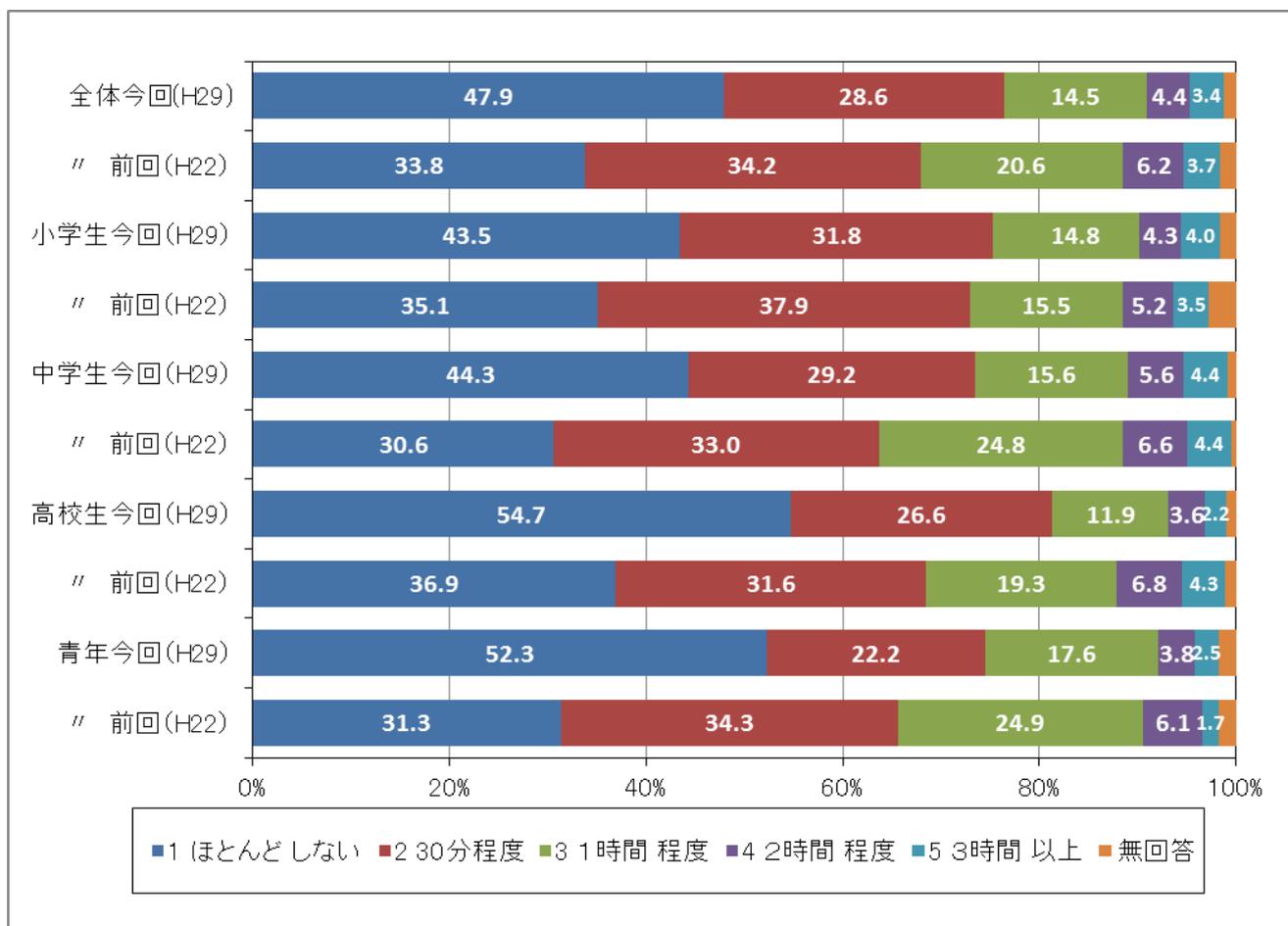
オ テレビゲーム・携帯用ゲーム機

- ・ 青少年全体で1時間以上と答えた割合は 35.2→43.1%となっている。
- ・ 前回調査と比べると、小学生で 34.4%→44.7%、中学生で 43.3→52.5%、高校生で 31.5%→33.4%、青年で 30.1%→40.6%となっており、全ての世代で増えている。



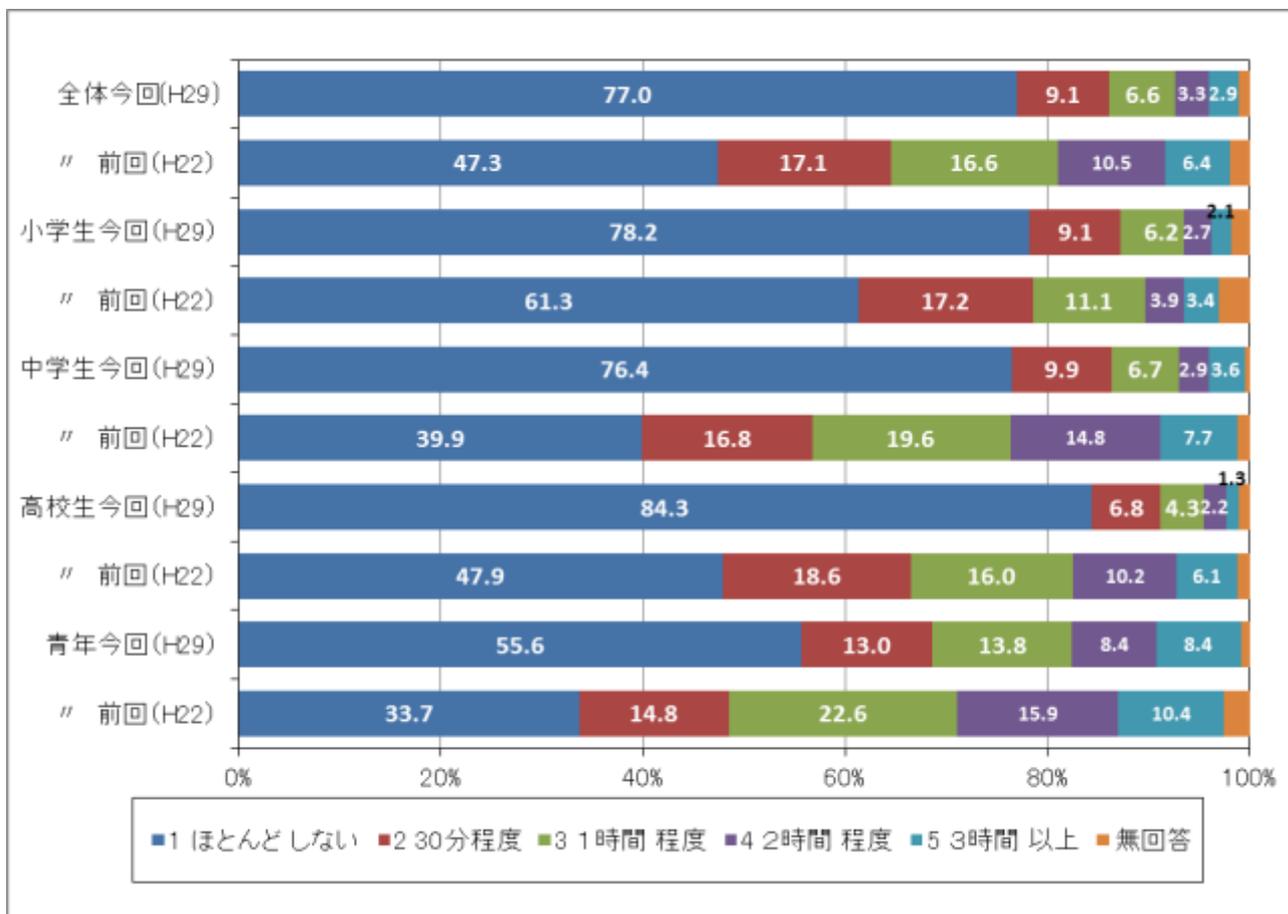
カ マンガ・雑誌を読む

- ・青少年全体で1時間以上と答えた割合は30.5%→22.3%となっている。
- ・前回調査と比べると、「ほとんどしない」が全ての世代で増えている。(小学生35.1%→43.5%、中学生30.6%→44.3%、高校生36.9%→54.7%、青年31.3%→52.3%)



キ パソコンを利用する

- 青少年全体で1時間以上と答えた割合は33.5%→12.8%となっている。
年代別にみると、青年(48.9%→30.6%)が一番高く、次いで、中学生(42.1%→13.2%)、高校生(32.3%→7.8%)、小学生(18.4%→11%)となっている。
- 前回調査と比べると、「ほとんどしない」が全ての世代で大幅に増えている。



キ 携帯電話やスマートフォンを利用する
 ※前回調査設問「携帯電話を利用する」

- ・ 青少年全体で1時間以上と答えた割合は53.1%となっている。
- ・ 年代別にみると、小学生が17.6%、中学生が49.9%、高校生が83.8%、青年が88.3%で、年代が上がるにつれ利用する割合が高くなり、特に高校生、青年が高い。
- ・ 各年代で割合がもっとも高いものは、小学生、中学生で「ほとんどしない」(小学生60.4%)(中学生34.4%)、高校生で「1時間程度」、「3時間以上」(各29.2%)、青年で「3時間以上」(43.9%)である。

